

# 丁寧な形態学研究と 創薬標的創出における 信頼性のある抗体作製の重要性



主催：iBody（株）

特別講演 16:10~16:45

ゲノム・遺伝子発現解析技術の革新によって生物・医学研究の潮流は劇的に変化しているが、古典的な形態学の重要性も忘れられてはならない。本講演では、演者が最近実施しているがん間質・線維化疾患研究の一端をご紹介します、丁寧な形態学あるいは創薬標的の創出における上質な抗体の作製の重要性について議論したい。

講師



榎本 篤 先生

名古屋大学大学院医学系研究科  
分子病理学・腫瘍病理学 教授

1998年 名古屋大学医学部卒業

1998年 大垣市民病院 研修医

2000年 名古屋大学附属病院分院腎臓内科（博士課程）

2000年 杏林大学薬理学 研究員

2003年 名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍病理学  
学術振興会特別研究員

2006年 名古屋大学高等研究院テニュアトラック 特任講師

2012年 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学 准教授

2020年 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学 教授

参加費  
無料

ZOOM  
ウェビナー  
開催

-2025年-

開催  
日時

2 / 6 木

16:00~17:00

※多少お時間が前後する可能性があります。  
お時間に余裕をもってご参加をお願いいたします。

会場

オンライン開催（ZOOMウェビナー形式）

タイム  
スケジュール

16:00~16:10...iBody 株式会社による技術紹介

16:10~16:45... 特別講演

「丁寧な形態学研究と創薬標的創出における信頼性のある抗体作製の重要性」

16:45~16:55... 質疑応答

運営  
お問合せ先

事務局 TEL：052-753-8654

iBody 株式会社 〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8  
名古屋医工連携インキュベータ 417

お申込 URL▼  
<https://x.gd/ljOw6>

